

「道の駅かつら」が移転します ～移転基本計画を策定しました～



平成5年に県内で第1号の道の駅として誕生した「道の駅かつら」は、御前山と那珂川を望む素晴らしい景勝の地に立地しています。しかし、開業から30年近く経過していることから、施設の老朽化は顕著であり、施設や機能の更新が求められています。

このような状況の中、茨城県による那珂川大橋の架替事業が動きはじめ、その新ルートに「道の駅かつら」がかかることから、店舗の移転が必要となりました。そこで、この移転を「道の駅かつら」が、新しく魅力的に生まれ変わる好機と捉え、令和2年10月に「城里町特産品直売センターかつら（道の駅）移転整備検討委員会」を組織し、計6回にわたり、新たな魅力あふれる道の駅を整備するための「道の駅かつら」移転基本計画（以下「基本計画」）案の審議が進められました。そして、1月31日、町において基本計画を策定しました。

この計画では、従来の施設に比べ、床面積が2・5倍以上に拡大されます。店舗内は、野菜売場が広がり、2階のレストラン（和食・洋食・ベーカリー）からは、御前山と那珂川、そして

新しい那珂川大橋が一望できます。その美しい眺望は、茨城県を代表する新たな観光名所となることでしょう。

また、バス停と観光バスの駐車場を整備し、周辺の観光情報を提供することで、町外からも多くの観光客を呼び込む拠点にもなります。

今後、令和7年度の開業を目指し、「新」道の駅かつらの移転計画を進めていきます。

基本計画の概要

1. 導入施設の整備方針

【整備コンセプト】

山河の魅力を「味わう」ことができる拠点づくり

豊かな自然や景色を味わうことができる拠点づくり

関東の嵐山と謳われる那珂川、御前山の風景やそこに広がる自然を活かし、四季を通じて城里町の魅力を体感することができる拠点づくりを目指します。

特産品の良さを味わうことができる拠点づくり

城里町の特産品販売や飲食等を通じて、町の魅力の発信と地域の活性化の促進に貢献する拠点づくりを目指します。

人とつながる喜びを味わうことができる拠点づくり

道路通行途中の休憩や、観光、レジャー利用の方々の他、地域の施設としての道の駅づくりで、安心安全で安らぎや癒しの魅力を伝え、人々の交流を促進できる拠点づくりを目指します。

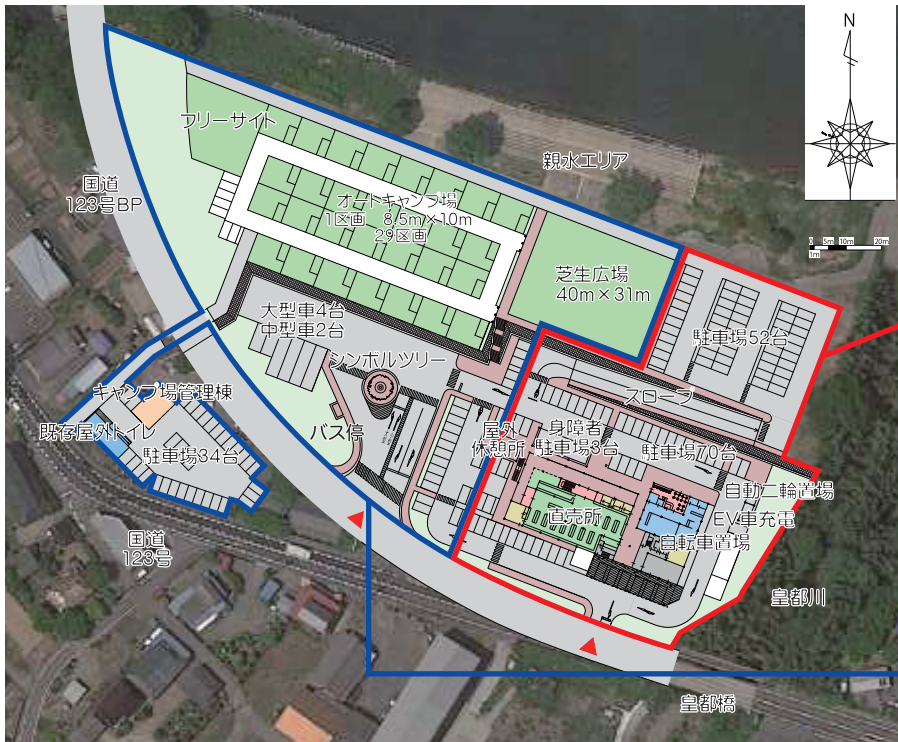
既存施設の雰囲気や踏襲した拠点づくり

昨今の道の駅として必要な機能の整備を検討する一方で、地域に合った施設規模を検討して、建設・維持管理のコストを抑えられるよう十分に配慮し、現存する道の駅かつらの温かい雰囲気を踏襲した魅力ある拠点づくりを目指します。



▲東側隣接地に移転します

3. 配置計画案(イメージ)



2. 施設規模

全体の面積規模について、施設の延べ床面積は約1,900m²(現在約700m²)、敷地面積は約19,000m²(現在約15,000m²)を計画しています。

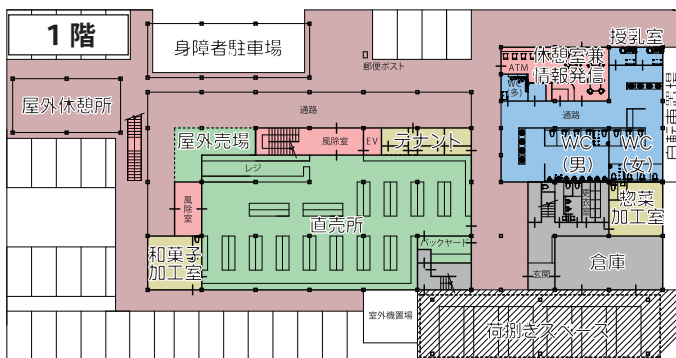
第1期工事

初期整備として、新道の駅の建物、駐車場等を整備し、開業します。

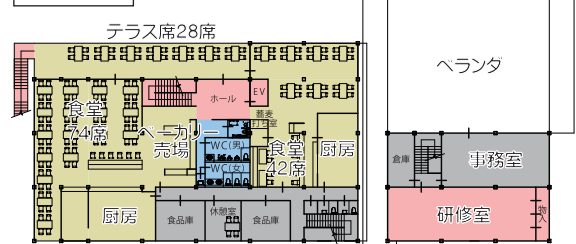
第2期工事

道路等の進捗に合わせて、オートキャンプ場、駐車場等を整備します。

4. 施設計画図案(イメージ)



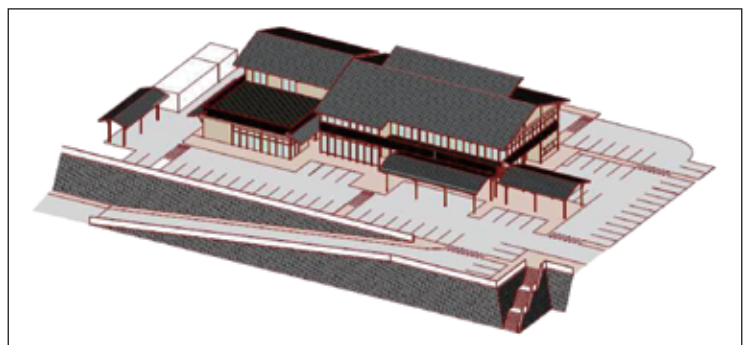
2階



1階には農産物直売所、屋外休憩所、屋外売場、テナント、情報発信施設等、2階には食堂、那珂川の眺望を楽しめるテラス席等を整備します。

5. 外観イメージ

- ・清流那珂川と県立自然公園御前山、そして新那珂川大橋の眺望を活かし、地域の景観に配慮した空間・意匠計画とします。
- ・那珂川との親水性をより高める計画とします。
- ・広い開口を確保することにより風光明媚な景観を取り込み、温もりと開放感のある計画とします。



※今後、意見や要望を取り入れつつ、詳細を決定していきます。
 ※基本計画は、町ホームページに掲載しています。

問合せ まちづくり戦略課 ☎029-288-3111(内線225)

[城里町 道の駅 基本計画](#) **検索**



◀町ホームページはこちら